

授業科目名	【G】 法学政治学演習Ⅰ・Ⅱ 【EF】 法学政治学演習Ⅰ・Ⅱ※本年度は開講せず	区分 選択必修	開講年次	【G】2 【EF】2	単位数	【G】2 【EF】2
科目区分	専門科目					
授業形態	対面授業					
担当形態	単 独	【G】 【EF】				
施行規則に定める科目区分又は事項等						
サブタイトル	社会問題を政治学の観点で考える		担当者	福島 都茂子		
授業概要	【概要】	現在の様々な社会問題について、政治学的観点から考察する。その際、新聞記事やニュース、書籍などを題材にし、ディスカッションを通して、世の中には様々な考え方があること、様々な価値観が混在していること、それらを前提としたうえで問題をどう解決していくか等について考察する。履修者には政治学のテーマで各自発表もしてもらう。				
	【到達目標】	資料や文献を正確に読みこなせる力と現在の社会問題に関する幅広い知識を身に付ける。それらを基にグループ・ディスカッション等を通じて、人前で自分の意見を明確に述べる、他人の意見を真剣に聞く、そのうえで問題解決方法を話し合う能力を身に付ける。				
履修条件	特になし					
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP (ディプロマ・ポリシー) ①	◎ (よく当てはまる)				
	DP (ディプロマ・ポリシー) ②	◎ (よく当てはまる)				
	DP (ディプロマ・ポリシー) ③	- (当てはまらない)				
他科目との関連性	今後、「政治学Ⅰ・Ⅱ」や「国際関係論Ⅰ・Ⅱ」を受講することが望ましい。					
教科書	必要に応じて資料を配布する。また適宜、授業中に指示・紹介する。					
参考書	必要に応じて授業中に指示・紹介する。					
評価方法	授業態度 (50%)、発表や課題の内容 (50%) で評価する。					
フィードバック方法	質問はメールで随時受け付けます。その他、発表や課題に関しては、授業内で解説します。					
評価基準	授業に積極的に参加 (発言等含む) し、課題を達成するとともに、学習した内容をよく理解し身に付けた者はその程度に応じて「S」または「A」、不足がある者はその程度により「B」または「C」とし、参加度または達成度が著しく低い者はその程度に応じて「D」または「E」とします。なお、欠席の多い場合や課題未達成などの場合は「F」とします。					
その他	特になし ※Gカリ:【Ⅰは選択必修(A)・Ⅱは選択必修(B)】 / EFカリ:【選択必修(γ)】					

授業 科目名	【G】 法学政治学演習Ⅰ・Ⅱ	区 分	開講年次	【G】2	単位数	【G】2
	【EF】 法学政治学演習Ⅰ・Ⅱ※本年度は開講せず	選 択 必 修		【EF】2		【EF】2
授業内容	<p>社会問題・時事問題などの新聞記事やニュースを読み、それらを正確に理解したうえで、何が問題なのか、解決するにはどんな方法があるかなどについて考察する。また、それらについてグループディスカッションや全員での議論を通じて、さらに考察する。また、特定の社会問題について、政治学的観点から発表を行ってもらう。</p>					
予習内容	<p>必要に応じて毎回指示するが、配布資料を読んでくること、分からない用語があれば事前に調べておくなど内容を正確に理解すること。その他、発表のための準備をするなど、毎回90分程度の予習時間が目安となります。</p>					
復習内容	<p>その日やったことの復習、課題の改善など、毎回90分程度の復習時間が目安となります。</p>					

科目コード B010-3-Y